

ほんわか短歌

ありがたし セルフ食堂 秋が舞に 飲み食いすべて 我族の奉は (4/7月)

水と光を たまわりて 天地の主の 限りなき恵み (4/7月)

毎朝せたく 家族達 せめて言葉で ありがた感謝 (4/7月)

毎朝ごみ捨て 家族達 " " (4/7月)

毎日元氣 みなものは 身体の中の 皆んごのお助け (4/7月)

雨の日は 我立の気ばら 車寄せ ゆく乗れと 家族の好意 (4/7月)

この頃は シーヤウが 息苦し 締めつけたい 閉りめたりし (4/8月)

霧と花^と合^て 歩けぬ すぐ息切れ 口不^と息^として (4/8月)

公園で トイレの前は 若者が くるま^と坐^とに^たい 遠ま^とり^とする (4/8月)

ハズレ好き 夢中^になれた (メリッは 直^と後^との 達成^と感 (4/8月)

水^との 進行 弱める期待 (4/8月)

賞品^と目^と当て 少^とし^とわ^とく^とわ^とく (4/8月)

マヌケせと 車に^と乗^とり^とし^と注^と意^と書^と それ^と持^と帰^とぬ^と百^と八十^と路^とか^とぎ (4/8月)

ハズレ好き 夢中^になると 散^とり^とた^とす 着^と替^とえ^との^と時^との^と家^と族^との^とた^との^とみ (4/8月)

厚んわの短期

米寿とて 帯の親名 ととけ子か 生きてる我を 見せてくれぬ (4/8月)

五臓の背で 弱り用着の プラ介平新は 日毎に強し (4/8月)

身体はさわると 甘いもの たつたかたは 凡そな目 (4/8月)

たんやせきなど はげしく するおぼゆる 又もおぼゆる (4/8月)

又来たか 不意をつかぬ 歯肉炎 歯かき粉 くらしみかく (4/8月)

好きなまんじゅう 糖しおあけ (4/8月)

歯肉のうらみ 念入掃除 (4/8月)

好きなアイス は 遠くまで (4/8月)

来る度毎に 甘味かき有之 (4/8月)

さりげなく 予兆の客見おぼゆる 右にたに せかせか歩き (4/8月)

色とりどりの 人の目なり (4/8月)

歯肉炎 として気が打るかみ合わせ 歯間ブラシ ~~歯~~ せむい動き (4/8月)

野本浩一様

かつてない猛暑が去って朝夕めっきり涼しい秋の
候となりました。スタッフの皆様にはいつも御苦勞
をおかけします。本日「伝笑嶋をおおくり頂き
心が感謝申あげます

(本日、ほんわか短歌をおおいしますが、いつもの様に
2ヶ月分の原稿としておかい下さい)

過日市の役員の方より米寿のお祝文と
(堂状)
お祝金をいただきました。

「88才まで生きるなんて、私の想像をはるかに
こえてしまったので、自分としてはびっくりしています

かなり足腰が「ガタガタ」なのに、こんなに長生き
できたのは、家族や友人達の「はげまし」以外
ありません。しかしおまけの人生を楽しく生きて
いこうと思います

スタッフの皆様くれぐれも御自愛下さい

松原伸也